



知性

健康

自主



校章のモチーフ しらね葵

《学校教育目標》

『優れた知性を持ち、健康で心豊かな たくましい生徒の育成』

寒河江市立陵西中学校 学校だより
2022.11月号 文責：校長 小野 行彦

個性と努力が結びつき『結晶』となった陵西祭



〔全校制作：壁画〕
『結晶』



「先輩からのバトンを次の世代へ」 実行委員長 3年 伊藤 俊輔

3年生最後の行事となった陵西祭。私は3年生の気合の入り様に驚かされました。去年までは直前からしか頑張っていなかった人たちが初めからやる気満々に歌って、最高学年として手本となる姿になっていました。その姿は、卒業した先輩からバトンが受け継がれていたようにも見え、陵西祭の伝統を感じました。また、学校全体はスローガン「結晶」のもと陵西祭活動を通して、限られた時間の中で同じ目標に向かって頑張る人が増えたことで、生徒同士の結びつきが強くなったと思います。そして、全校生の努力が繋がることで今年度の陵西祭は成功できたのだと思います。このことは、来年の陵西中へと繋げてほしいです。

私は陵西祭を通して、実行委員長として活動することの大変さと、その活動を終えての達成感を知り、まとめ役としての重要性を実感しました。また、全校生一人一人が合唱を通して学びと成長を感じていると思います。是非、この結晶の経験を今後の生活に活かしていきましょう。



開閉祭…進行



企画…振り返り



装飾…生徒昇降口



全校制作…制作活動



体育館の展示と鑑賞



3年ぶりの伝統芸能（西覚寺田植え踊り）

陵西祭 合唱コンクール

最優秀賞

3年2組

課題曲 『ふるさと』 指揮：中川 心温

自由曲 『証（あかし）』

指揮：山田 瑛心 伴奏：奥山 姫乃



優秀賞

3年1組

課題曲 『ふるさと』 指揮：佐藤 豪

自由曲 『虹』

指揮：真木 飛鳳 伴奏：安孫子結咲



優秀賞

2年1組

課題曲 『ふるさと』 指揮：鈴木 庵理

自由曲 『あなたへ 旅立ちに寄せるメッセージ』

指揮：高橋 岳玖 伴奏：高橋 莉琉



優良賞

2年2組

課題曲 『ふるさと』 指揮：田中 陽良

自由曲 『手紙～拝啓 十五の君へ～』 指揮：井上 叶夢

伴奏：奥山 華 (伊藤 萩大)



優良賞

1年1組

課題曲 『ふるさと』 指揮：大泉 楓

自由曲 『HEIWAの鐘』

指揮：菊地 琴巴 伴奏：悪七なずな

1年2組

課題曲 『ふるさと』 指揮：高橋 快心

自由曲 『旅立ちの時～Asian Dream Song～』

指揮：佐藤 暖馬 伴奏：菊地 心菜



当たり前前でないことが
当たり前前にできる
有難さを知る



「身近な存在にある税金」 木村 心愛

私は中学生になるまで、税金を払う意味が分からず、必要なものだと感じていました。ですが、中学生になって税について詳しく学んだり自分で調べてみると、私たちの生活の中には、税金で支えられているものがたくさんあると知りました。税金は、年金や医療費などに使われていて、

お年寄りの方や病気の方に使用されているそうです。他には、公園や駅などの公共施設にも使われています。しかし、私が特に気になったのは、学校に使われる税金のことです。毎日通っている校舎や毎年渡される教科書など、学校生活に必要なものは、税金によってまかなわれていることが多いのです。私は今まで、税金を身近に感じたことはありませんでした。だから、税金の使われ方を初めて知った時は驚きました。それまで、学校はどのように建てられたか、なぜ電気が点くのか、なぜ蛇口をひねれば水が出てくるのか、なぜ毎日の給食が食べられるのか、挙げればきりがありませんが、このようなことを私は知りませんでした。もはや、何の疑問も持たなかったこともなく「これが当たり前」という感覚でした。色々調べてみて、このような「当たり前前」をつくっているのは、私たちが支払っている税金だと分かりました。毎日学校へ通い、授業を受け、給食を食べ、部活動をし、友達と話したりもできる、そんな充実した日々は税金のお陰なのです。普段生活している中で、なかなか税金の存在には気が付かないけれど、私たちの暮らしを形づくっているのは税金でした。税金について詳しく知るまで私は、「どうして税金なんて払わなくちゃいけないの？ 払うメリットってあるの？」そう思っていました。しかし、そんな税金が世の中の多くの人々の手助けになります。また、私たち自身も気づかぬうちに、沢山の場面で税金に支えられています。人々がお互いに支え合うこと、それが「税金」だと分かりました。今、世の中には、学校へ行きたくても通えない人がいます。私が学校へ通えていることを当たり前だと思わずに、感謝して生活していきたいです。学校だけでなく、様々な場面で税金に支えられていることを知って、税金の大切さを感じることができました。そして、「税金は身近な存在」ということが分かりました。



「社会を明るくする運動」中学生の部 「優秀」
「小さな悩みから大きな事件へ」 悪七 なすな

これは、2022年7月8日奈良市内で元内閣総理大臣の安倍晋三さんが選挙の応援演説中に銃撃・殺害された事件です。ある宗教団体と安倍さんが関わっていると考えた容疑者が手作りした散弾銃を使って安倍さんの背後から白昼凶行に及んだものです。この事件は一度聞いただけでは、信じがたく言葉を失いました。日本で銃を使った事件でまず思い浮かぶのは、反社会的勢力同士の争いくらいで、そのくらい私は日本と銃は無縁だと思っていました。それに対して、銃大国と呼ばれるアメリカ合衆国では、銃の所持率は世界一位です。ニュースでもよく銃の乱射事件を耳にすることがあります。ただ、今回の事件は一般市民が手作りの銃を使用し、日本の元総理大臣を狙ったことに世界中が驚かされました。たくさんのSPがいる中で、背後から至近距離での犯行でした。私は、まず日本の銃所持率を調べてみました。日本では、狩猟や射撃競技の認知度が低く、国民が銃を所持している割合は0.3%と世界でも最も低いのです。それに対してアメリカは三割と言われています。銃を作り、安倍さんを殺害してしまっただけで容疑者ですが、この事件の発端は家庭での容疑者とその母親との関係でした。ある宗教団体へのめぐりこんでしまった母親が家の財産を全てその宗教団体につき込んでしまったことかと思えます。おそらく母親にも何か悩みがあり、宗教へのめぐりこんでしまったのではないかと思えます。しかし、一つの家庭の問題からここまで全世界を驚かせるような事件に発展してしまいました。このことから大きな事件には、小さな問題がたくさん積みこまれて大きな事件となってしまうと考えました。事件が起きたら罪となり、厳しく取り締まることも大切ですが、身近な社会、自分の周りの地域、家庭からの問題からの犯罪を生まないようにすることが必要だと考えます。そのために、家庭でできること、例えば挨拶をする、つねに悩みを打ち明けやすい環境を作る、表情や言動から何か悩みがありそうだと思うたら声をかけてみる、親に言いにくいときには姉妹に話を聞いてもらったり、学校の先生、スクールカウンセラーなど、どこか自分の悩みや不安を相談したりできるところを探しておいて、すぐに相談できるように準備しておくよいのではないかと考えます。自分ができることは何かと考えてみると、地域のひとのかかわりを持つことが大切だと考えます。コロナのなかった頃は、地域の夏祭り、避難訓練、地域の文化祭や、クリーン作戦など地域の方々と交流する機会がたくさんありました。しかし、コロナ禍となり、様々な交流がなくなってしまうました。でも、登下校時に挨拶を交わしたり、声をかけてもらったりしています。今回のこの事件は容疑者も母と母親と会話したり、周りの人に相談したりできていたら、事件が起きる可能性は低かったと思います。だから私は、悩んでいる人を見かけたら声をかけたり話を聞いたりしたいと思えました。そして、自分に悩みがあったら周りの人に相談したいと思えました。

○山寺芭蕉記念館英語俳句大会

〔入選〕

中川 心温 安孫子結咲
 伊藤さくら 布川 未歩
 佐藤 滯 木村 心愛
 荒木わかな 佐藤みりあ

佐藤 滯さんの作品
 Looking straight upwards
 Ultramarine summer sky
 Not a cloud in sight
 (空を見上げれば
 雲一つない 群青の夏空)

栄誉を讃えて

○寒河江市防犯広報作品

佳作 武田 華濃

○寒河江地区交通安全協会

交通安全全柳 佳作 國井 夢叶

◇ユニエアウィンターカップ全国大会

U15バスケットボール選手権

山形県大会 優勝 菊地 征太



12月の主な予定

月日	曜	計画
1	木	フレックスタイム 午前授業
2	金	学級討議 (年間反省)
3	土	登校日 新入生オリエンテーション 2学年進路学習会 (卒業生から) 弁当
7	水	生徒総会
8	木	専門委員会
9	金	振替休日 (12/3)
12	月	進路指導委員会 3学年三者面談開始
13	火	保護司と語る会
14	水	全校朝会 (生徒会引継ぎ会)
16	金	三者面談開始 (成績票配付)
20	火	進路指導委員会
23	金	2学期終業式
27	火	生徒会リーダー研修会
29	木	学校閉庁 (~1/3)

第3回学校運営協議会 報告

11/11 (金)、今年度3回目の学校運営協議会が開催されました。今回の熟議の内容は、今年度実施された活動内容や来年度に向けた話し合いでした。冒頭、校長より改めて本協議会の目的や生徒に育もうとしている「生きる力」や趣旨について確認された後、第2回の協議会を受けて、具体的な今後の計画について話し合われました。たくさんの意見や提案が出され、予定された時間をオーバーするほどの熱い熟議になりました。今後、提案されたことについて、学校内で協議・共有した後、今年度中に実施可能なものは、積極的に取り入れていきたいと思っております。



〔校長からの確認とお願い〕

- ◇目的は「日々進化し、先行き不透明な社会を
生きていかなければならない子どもたちに必要な力を育むこと」
- ⇒ 『主体的に学び行動する生徒』
- ⇒ 中学生や学校だけではできないことも…
- ⇒ 学校運営協議会の役割は『つなぐ』こと
- 「場所・時間・人材・きっかけ・サポート」の提供
- ⇒ 生徒を取り巻く環境の変化への対応
- 子どもの居場所づくり (かかわりを持つ機会や場所の確保)
- ⇒ その一つとして
- 「2026年度から部活動平日のみ」 (11/9 山形新聞掲載)
- コロナ禍の影響も…
- ・多様な繋がり方の弊害も
- 学習効果とメタ認知
- ・体験や対話を通しての学習効果は高く深い
- ・かかわりをスムーズに気配りや配慮ができることは、人間性につながる。生きる力が高いとも考えられる。

〔委員からの意見や提案〕

- ◇地域の資源の活用
- 慈恩寺本堂茅葺屋根の大規模修理
- ・見学と調査 (萱の入手先や葺き方などは伝統手法の継承)
- 高齢者とのかかわり
- ・福祉施設への活動はできない状況
- ⇒ 地域の高齢者との接点をつくる
- 中学生も地域の一員として考えた活動 (中学生としてできること)
- ・生徒会分団会の活用 ⇒ 定期的な地域との話し合い (分団会でつながる)
- ・小中合同の学習会
- 地域として動かなければならない ⇒ コミュニティースクールの理解不足
- 運営協議会や地域からの情報提供が必要

陵西中の図書室

陵西中の図書室も秋の装いになりました。本校の2名の教育活動補助員 (富澤さんと澁谷さん) が、生徒にもっと本に親しんでほしいと、季節ごと趣向を凝らした展示をしてくれています。学校にお越しの際は、是非ご覧ください。また、職員玄関にも作品が展示されています。

